

県内小選挙区 主な候補の地方活性化に関する訴え

1区	石崎徹 (維元)	行政、国会改革で投資的な資金を集め、地方の成長を図る
	塚田一郎 (自新)	デジタル田園都市国家構想で企業誘致と雇用創出を進める
	西村智奈美 (立前)	賃金水準を上げる。特に医療・福祉・介護従事者の待遇を改善
2区	高倉栄 (国新)	最低賃金を千円に引き上げ。農林水産省を本県に移転
	細田健一 (自前)	地場産業の人手不足、事業継承の問題を税制や補助金で支援
	平あや子 (共新)	脱原発を進め再生エネルギーを普及させ雇用を創出する
3区	黒岩宇洋 (立前)	介護士・保育士の公務員化で老後と育児を支え、地方経済を活性化
	斎藤洋明 (自前)	高速大容量の第5世代(5G)移动通信システムを活用
4区	菊田真紀子 (立前)	地域を支える中小企業の生産性向上、働き方改革などを支援
	国定勇人 (自新)	農業、製造業、観光など特徴ある地場産業に対し優遇税制などで支援
5区	米山隆一 (無新)	教育、医療、福祉などを整え住みやすい地域をつくる。特に働く環境を重視
	森民夫 (無新)	移住希望者が住みやすい環境整備。好条件の職場づくりで若者流出を防ぐ
	泉田裕彦 (自前)	所得再配分を進め、どこで就職しても経済的中流でいられる社会の構築
6区	梅谷守 (立新)	雪国の減税を法制化し、灯油代などの負担軽減につなげる
	高鳥修一 (自前)	社会資本整備や防災減災対策などの予算を確保。上越を克雪モデル都市にする

※敬称略。街頭演説やインタビューなどを基に構成。自は自民、立は立憲民主、共は共産、維は日本維新の会、国は国民民主、無は無所属